

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社システムハウスわが家	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	21名
事業概要	自社サービス開発、受託開発、常駐型業務支援		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅勤務規定
テレワーク担当部署	IT事業部
テレワーク対象者	IT事業部
実施者数	12名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

首都圏に集中する仕事を首都圏以外にも分配し、日本中を元気にしたいと考えています。過疎化する地域を救い、若者の首都圏への流出を食い止め、生まれ故郷の家族と暮らせる、そんな世界を創るために2018年4月にIT事業部を立ち上げテレワークを導入しました。

テレワークの概要・特徴

テレワークと裁量労働制を導入することにより、社員がこなす案件数や難易度ごとに、成果報酬を付加する評価制度を取り入れているため、社員の努力がそのまま結果につながり、社員のモチベーションアップだけでなく、自律的な働き方を促すことにもつながります。案件の仕事量や難易度を自分で選択することにより、給与面を重視するか、子育てや介護などの時間を優先するか等、ライフスタイルに合った理想的な働き方を実現することができます。もちろん必要以上に働き過ぎないためにも、スケジュールを自己管理する能力が必要となり、そういった指導は今後の課題として挙げております。また定例会議などで社員の表情や会話などから、メンタルな部分の健康状態をチェックすることも重要な取り組みとして実施しております。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

裁量労働制における働き方は、労働時間の管理を厳密に行わないため、過重労働になってしまう傾向があります。そのため深夜残業になってしまった場合、通勤勤務では終電時間までに帰ることができないケースが発生したとき、必然的に徹夜作業あるいは十分な睡眠をとることなく、翌日の業務へ継続せざるを得ないことがあります。

こうしたデメリットもテレワークを導入にすることにより、仕事上不可欠な多少の頑張りが効率よく効果を発揮することが可能となりました。

例えば昼間に介護や子育てに要する時間が多くなってしまった場合、仕事をスケジュール通りに調整するために深夜まで作業をしたとしても、家路に帰る時間を要することなく、そばには疲れをいやす入浴設備と、快適に眠る寝室があります。

また作業をスケジュール通りに終えた後には、自由に休息をとることも可能です。仕事を社員のライフスタイルに合わせ、都心から離れた自宅からでも効率よく仕事を消化できることで、健康的な心身を保ちながら仕事に専念することができるようになりました。